

上海紧缺人才培训工程教学系列丛书

日语口译资格证书考试

听力教程



上海外语教育出版社

上海紧缺人才培训工程教学系列丛书

日语口译资格证书考试

听 力 教 程

陆静华 编著

上海外语教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语口译资格证书考试:听力教程/陆静华编著. -上海:上海外语教育出版社, 1999

(上海紧缺人才培训工程教学系列丛书)

ISBN 7-81046-569-4

I.日… II.陆… III.①日语-口译-资格考核-教学参考资料②日语-视听教学-资格考核-教学参考资料

IV.H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 36427 号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机), 65422031 (发行部)

电子邮箱: ljjb@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com> <http://www.sflep.com.cn>

责任编辑: 江龙娣

印 刷: 中共上海市委党校印刷厂

经 销: 新华书店上海发行所

开 本: 850×1168 1/32 印张 11.5 字数 285 千字

版 次: 1999年10月第1版 2000年5月第2次印刷

印 数: 5 000 册

书 号: ISBN 7-81046-569-4/G · 769

定 价: 16.30 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

“上海市日语口译资格证书考试”
专家组及教材编委会成员

主编 张鸿成

编委 陆静华

周道宏

陆国华

黄秋萍

钱力奋

总 序

振兴上海,开发浦东,争取在下世纪初把上海建设成为国际经济、金融、贸易中心之一,成为长江流域经济发展的“龙头”,这是党中央和国务院交给全体上海人民的一项跨世纪历史任务。1994年11月7日,黄菊同志在上海市市长国际企业家咨询会议上强调指出:“上海跨世纪发展战略能否顺利实施和实现,从根本上说取决于能不能造就一大批面向新世纪的高层次人才”。

为了加速人才培养,早在1993年上海市教委、成教委、市委组织部、市人事局就共同发起和组织了“紧缺人才培训工程”,并组建了十大紧缺人才培训中心,遍布于各大行业,全面推进紧缺人才的培训工作。其中,上海市高校浦东继续教育中心(PCEC)就是十大紧缺人才培训之一,它是由上海市教育委员会、上海市人事局和浦东新区有关部门,以及十所高校共同组建的高层次继续教育专业机构。

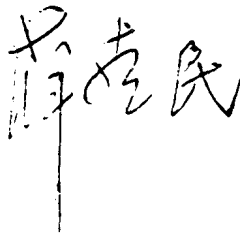
随着上海改革开放的深化、产业结构的调整、第三产业的迅速崛起、外资和外商的大量涌入、涉外业务及外事活动急剧增加,高级口译人员迅速成为社会的紧缺人才。然而,正规院校的培养能力总是相对有限的,培养高级口译人才的最好渠道则是通过继续教育。为此,“上海市紧缺人才培训工程联席会议办公室”专门委托上海市高校浦东继续教育中心(PCEC)设立“上海市外语高级口译岗位资格证书”项目,并开展相应的培训及证书考试工作,培养高级口译人才。教材建设是培训与考试的基本条件,PCEC发挥自身优势,

组织了上海各高校的口译教学专家，群策群力，精心编写了具有较水平的高级口译培训系列教材。教材在内容上具有科学、实用、新颖等特色。坚持在兼顾“读、说、听、写”的基础上，突出培养高级口译能力。教材的出版具有以下几方面的意义：

1. 为紧缺人才培养提供了保证；
2. 填补了外语教学在这一领域的空白；
3. 为外语教学改革提供了良好的借鉴；
4. 为在全社会推动证书教育，转变“文凭本位”观念起了良好的作用。

语言是人际交往不可缺少的工具。展望 21 世纪，上海作为国际知名大都市，国际交往必将更趋频繁，对高级外语口译人才的需求仍将十分旺盛。因此，在下一世纪，“口译岗位资格证书”项目必将有更广阔的发展前途。“欲穷千里目，更上一层楼”，我希望 PCEC 和各位专家更加努力，通过实践，对教材的内容、形式不断进行更新、改进和提高，使整个培训项目及教材具有权威性。借此机会，我也希望有志翻译事业的莘莘学子都能通过“上海市外语高级口译岗位资格证书”的考核，为 21 世纪上海的腾飞作出应有的贡献。

上海市教育委员会副主任
上海市高校浦东继续教育中心董事长



1998 年 4 月

前 言

“上海市日语口译资格证书”的培训和考试是“上海紧缺人才培训工程”的项目之一,由上海市委组织部、市人事局、市教育委员会和市成人教育委员会联合主办。通过本项目市统考者,可获得这四个部门统一颁发的“上海市日语口译岗位资格证书”。该项目由上海市高校浦东继续教育中心承办。

为满足培训需要,该项目专家组成立了日语口译资格证书教材编写委员会,由张鸿成任主编,编委有陆静华、周道宏、黄秋萍、陆国华、钱力奋。六位编委分头执笔撰写了《翻译教程》、《听力教程》、《阅读教程》、《口语教程》和《口译教程》。可供各培训点教学使用。这五本配套教材是根据《上海市日语口译资格证书考试大纲》的要求及细则编写的,分别适用于笔译、听力、阅读、口语、口译五门课程的教学。学生经过培训之后,能适应本资格证书的考试。此外,本教程也可作为一种自学教材,供有一定日语基础的人员通过自学来参加本资格证书的考试。本套教材的适用对象为通过国际日语水平考试二级或相当于大学二年级水平者。

我们认为:要成为一名合格的口译工作者,必须在听、说、读、写、译这五个方面同时下功夫,齐头并进,缺一不可。据此,教材编写委员会确定了统一的编写原则、范围、要求。总体上安排学生在接受 240 学时(以每周 15 学时,共十六周计)的系统培训后,可达

到相当与国际日语水平考试一级程度,具有担当一般性口译的能力。具体地讲,通过市统一考试后,“日语口译资格证书”获得者能胜任各类外贸商务谈判、生活翻译、陪同翻译等口译工作。

这套教材共有五本,是相辅相成的。即有统一要求,又有各自的重点。在教学进度上,各《教程》均规定每周完成一课内容,五项训练齐头并进。在具体教学中,我们认为:应以听、说领先,听、说和读、写、译并重。听、说训练宜采用情景教学法,尽可能让学生多开口讲、用耳听、动脑想。培养学生用外语来思维的能力。在译的方面,以信、达为主,也就是要求忠实于原意,明白、通顺。在教学中,也应尽可能让学生多译、多练。概括地讲,每本教程都强调实践为主,在教学中始终以操练为主,充分发挥学员的主观能动性,让学生在反复操练、实践的氛围中不断提高日语水平和各项技能。本套教材的《听力教程》还配有录音,以便学生复习使用。

本教材在编写过程中,自始至终得到陈德民先生的鼎力相助,在此表示谢意。

由于时间仓促,加之水平有限,书中难免有不足之处,真诚地希望各位批评指正。

主编 张鸿成
1998年5月

编者的话

《听力教程》是按《上海市日语中级口译岗位资格证书考试大纲》听力部分的要求编写的,是应试培训教材之一,为准备参加考试取得该项资格证书的学生提供适当的听力模拟试题。可供各培训点使用,也可作为应考自学教材和希望提高听力水平的日语学习者使用。

本教程共分 16 课,每课由 A、B、C 三套相同形式的试题组成,每套试题分三项。第一项要求在听一段录音后填写出题中的空缺部分。这种训练的目的在于提高听力理解和笔录能力。录音放 2 遍,也可视学生的具体情况增减次数。第二项由 1、2 两小题组成。第 1 小题要求在听完男女各一句对话后,对该对话的内容作出是非选择。该题的主要目的在于训练学生的听力理解能力。要求学生一遍听懂。第 2 小题为语篇理解,要求学生在听完 2 遍后对后面的是非题作出选择,以提高学生获取信息的能力。第三项为一段对话,要求学生在听完 2 遍后,简单扼要地叙述出对话的内容。该题的目的在于训练学生的短时间记忆能力和归纳表达能力。

日语听力是提高日语口译能力的一个重要方面,是日语教学中五项基本技能之一,也是中国学生的一个难点。但是,听力理解能力的提高是一个综合水平提高的过程,要提高日语听力水平决

非一朝一夕之功,而要靠长期积累,坚持多听多练方能奏效。因此,建议学生在做本教程的听力练习外,尽可能地多做其他听力练习,多创造听力条件。为了便于教学和学生自学,本教程后附所有录音书面材料和练习答案,供本教程使用者参考。

本教程在编写过程中,参考或采用了国内外有关书刊资料,并由日本专家天野顺太郎先生和广岛大学名誉教授松下亮先生担任本书的审校工作,在此一并致谢。由于时间仓促,水平有限,教程中难免有不当之处,敬请指教,以供日后修订之用。

编者
1998年5月

目 錄

第一課	1
第二課	12
第三課	23
第四課	35
第五課	47
第六課	60
第七課	72
第八課	86
第九課	97
第十課	110
第十一課	122
第十二課	133
第十三課	145
第十四課	157
第十五課	168
第十六課	180
錄音內容と参考答案	
第一課	193
第二課	202

第三課	211
第四課	221
第五課	230
第六課	240
第七課	249
第八課	258
第九課	267
第十課	276
第十一課	285
第十二課	294
第十三課	303
第十四課	313
第十五課	322
第十六課	331
單語索引	341

第一課

(A)

一、テープを聞いて、次の文を完成させなさい。

子供の遊び道具が_____という。高価なものが増えてきた。メーカーが_____のは、「おもちゃをいかに本物に近づけるか」ではなく「本物をいかにおもちゃにするか」の点にあるという。おもちゃの洗濯機で実際に洗濯ができるのである。子供の数が減少して、一人の子供に十分なお金がかけられるので、_____が売れるらしい。

一昔前は、_____いろいろな遊びができた。棒切れで_____をする。竹で水鉄砲を作って遊ぶ。_____は小さな舟になった。空き缶は物を入れたり、水を_____大事な遊び道具だった。高価なものはないが、_____と、自由に遊べる時間と空間があった。

子供が少ないからお金がかげられるというが、お金がかかるから子供の数が減っているという見方もできる。都会では、外で遊ぶ場所がないし、_____で時間もなし。_____の危険もある。豊かなようで、実は貧しい時代

になっているのかもしれない。

二、テープを聞いて質問に答えて、いいと思うものに○をつけなさい。

1. 質問:この海で、今は何かとれるんですか。
 1. ええ、何かとれるんです。
 2. いいえ、今は、何もとれないんです。

2. テープを聞いて、テープの内容と合っているものに○、違っているものに×をつけなさい。
 - A. マレーシアでやる合弁会社だから、相手はマレーシア人に決まっている。
 - B. マレーシア人とはマレーシアの国籍を持つ人のことであるとは限らない。
 - C. マレーシアで合弁会社をやるので、相手はなに人であろうとかまわさない。
 - D. マレーシアでは原住民でも優遇政策を享受することができない。

三、テープを聞いて、次の質問に答え、更に会話の内容を叙述文でまとめなさい。

1. 女の人はずなぜスプーンを持って歩くようにしているのですか。

2. なぜ外食をしないわけにはいかないのですか。

3. 男の人は女性のすることに賛成していますか。また、それはどうして分かりますか。

4. まとめ:

単語

メーカー	制造商, 厂商, 制造者
一昔(ひとむかし)	往昔, 昔日, 过去
棒切れ(ぼうぎれ)	棍子头, 半截木棒
水鉄砲(みずてつぽう)	水枪
パートナー	合伙人, 合作者
複合民族国家(ふくごうみんぞくこっか)	复合民族国家
ブミプトラ	原住民, 土著氏族
甲型肝炎(こうがたかんえん)	甲肝
自分専用(じぶんせんよう)	自己专用
優遇政策(ゆうぐうせいさく)	优惠政策

(B)

一、テープを聞いて次の文を完成させなさい。

これらの民族は、国ではなく_____で行動しており、同国人という結び付きよりは、同民族という結び付きのほうがはるかに強い。したがって、_____なども、同民族の間でならば、_____に行われ、お互いに信用する_____も高い。もちろん、これとは裏腹に、同じ民族の間で_____、信義に反するようなことをすれば、それに対する_____も非常にきびしいので、鉄の結束が_____ことになるのである。

どこか他の国から_____民族、すなわちその国にとっての異民族は、_____からいじめられ、迫害されるが、その場合、民族として団結し、お互いに助け合いながら、迫害に_____行くことになる。

二、テープを聞いて質問に答えて、いいと思うものに○をつけなさい。

1. 質問: 女の人は何と言いましたか。
 1. よくできた。
 2. できなかった。
2. テープを聞いて、テープの内容と合っているものに○、違っているものに×をつけなさい。そして、後の質問に答えなさい。
 - A. 携帯電話の感度は極めて優れている。

B. しゃくにさわるのは音というよりも、使う人の態度である。

C. 騒音を出しているから携帯電話が問題になっている。

D. 公共の場所では礼儀正しく携帯電話を使ってほしい。

質問：

1. 携帯電話の感度は十分優れていますか。また、それはどうして分かりますか。
2. 携帯電話を使う人はなぜ一様に大声で話すのですか。
3. 電車内の音の迷惑にはどんなものがありますか。
4. 傷害事件が起き、社会問題となった原因はなんですか。
5. しゃくにさわるのは、どんな態度ですか。
6. 携帯電話を使う一部の人はどんな優越感に浸っていますか。
7. どんなマナーを守って使ってほしいですか。